

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 周知については職員アンケートでは良好で、保護者についてもホームページへの掲載や入園時の園長説明等の働きかけもありアンケート結果は良好です。	

I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に対応している。	
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 法人本部において業界全体や地域動向、各園を取り巻く環境・地域ニーズを収集し、経営環境の把握と分析に努めています。	
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 法人本部で経営状況を把握・分析した結果からの課題に対して施設長会や主任会議および各施設の職員会議において具体的な対策につなげています。	

I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 法人内の各施設から中長期計画策定の担当者が集まり、将来の園児数等の動向を踏まえた事業計画を組織的に策定しています。	
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 事業計画および収支計画を明記した単年度計画が作成されています。	

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a ● b ● c
<コメント> 事業計画の実施状況の把握や評価・見直し方法に関して、更に職員の意見が反映できるような取組を期待します。	
I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a ● b ● c
<コメント> 保護者会総会や園だより等を利用して行事計画等を紹介していますが、その他の事業計画についても伝えた方が良い事項については紹介されることを望みます。	

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	● a ● b ● c
<コメント> 保育に関するチェックポイント（200項目）の自己評価（調理は別途）を各職員が実施し、園全体として取りまとめ課題抽出することで保育の質向上に活用しています。	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	● a ● b ● c
<コメント> 自己評価の分析結果から課題を明確にした上で、組織としての改善計画策定に取り組んでいます。	

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	● a ● b ● c
<コメント> 園に訪問した際、園長はリーダーシップを発揮して各職員に指導を行っている様子が伺えました。	
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	● a ● b ● c
<コメント> 遵守すべき法令等の職員周知に関しては、資料の配布や基本的な規定集等を用いて勉強会を行う等、職員指導に取り組まれています。	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	● a ● b ● c
<コメント> 小規模な園の為、園長は時間があれば各部屋に出向き子供たちの声に耳を傾けることで園内の状況把握に努め、常に保育の質向上の意識を持って取り組まれています。	

II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
<コメント> 園長は、現状の職場環境における課題や問題点については十分理解しており、少しでも改善できるように日々検討・改善に向けて取り組まれています。	

II-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	
II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉠・b・c
<コメント> 人材の確保や定着に関しては、法人が主体となって計画的に人材育成や採用に取り組まれています。	
II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・㉡・c
<コメント> 各職員を総合的に人事管理する仕組みが不十分のようです。法人を含めた仕組みについて検討されることを期待します。	
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・㉡・c
<コメント> 残業削減に向けて園長も指導していますが、もう少し早く帰れる雰囲気づくりへの取り組みを期待します。	
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・㉡・c
<コメント> 職員が現在実施している自己評価に関して、もう少し個々の職員が目標意識を持って行動できるようなツールとしての活用を期待します。	
II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉠・b・c
<コメント> 法人として研修体制は充実しており、本部にて各職員の研修管理が行われています。	
II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
<コメント> 法人として研修体制は充実し園内研修についても必要に応じて実施されており、職員の研修に対するアンケートでも良好です。	
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	
II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	㉠・b・c
<コメント> 実習生の受入れマニュアルを整備し、オリエンテーションおよび実習指導では細かく丁寧な指導がされています。	

II-3 運営の透明性の確保

	第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠・b・c
<コメント> ホームページで事業報告や財務諸表等を公表。必要に応じて懇談会等を通じて苦情を公表している等、運営の透明性に努めています。	
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉠・b・c
<コメント> 法人全体として監査法人による外部監査を受けています。	

II-4 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠・b・c
<コメント> 市が推進する「伊賀市菜の花プロジェクト」に賛同し、地域農家が栽培する菜の花の種まきや収穫に参加。給食も菜種油を使うなど地域産業に興味を持つ保育をしています。	
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・㉠・c
<コメント> 絵本ボランティアや園庭の清掃ボランティアなどを受け入れています。受入れ時のマニュアル整備が望まれます。	
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉠・b・c
<コメント> 職員室には関係機関と連絡がすぐにとれるよう連絡先一覧を掲示し、連携が取れるような関係構築に努められています。	
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	㉠・b・c
<コメント> 一時保育事業や乳児保育事業のほか、子育て支援事業にも取り組み、相談窓口の設置や交流行事を開催する等、在宅・地域の子育て支援に取り組んでいます。	
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉠・b・c
<コメント> 地域行事に子供たちが積極的に参加することで行事の活気づけに貢献しています。また、子育て支援の一環として相談窓口を設けいつでも相談を受ける体制にあります。	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 人権擁護委員会から講師を招き職員意識の周知に取り組んでいます。また、職員全員がどのクラスの子供のことでも把握できるように連絡ノートで情報共有に努めています。	
Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 職員は、それぞれの子供の家庭背景や状況に配慮した保育に努めていますが、プライバシー保護に関する規定やマニュアルの整備により職員への更なる周知を望みます。	
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
<コメント> ホームページや見学の受入れ、子育て支援事業での交流事業の機会を通じて園の情報提供をしています。	
Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	Ⓐ・b・c
<コメント> 保育内容に変更があった場合には、園だよりや掲示板で知らせるほか、保護者の登録メールを活用して変更内容等の情報をメール発信しています。	
Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 法人内での園異動に関しては、文書等で詳しく引き継ぎを行っています。また、外部の園との引き継ぎに際しては、保護者の了解を得たうえで対応するようにしています。	
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 年1回の個別懇談会や年4回の保護者役員会の機会を活用して保護者の意見を聞くとともに、普段から保護者への声掛けに努め話しやすい環境づくりに取り組んでいます。	
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・b・c
<コメント> 苦情解決の案内は職員室前の良く見える場所に貼ってあります。また、保護者と普段から会話をする中で相談や願い事についての要望を聞き取り早期対応に努めています。	
Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・Ⓑ・c
<コメント> 保護者が人の目を気にせず相談ができるスペースの確保が現状では難しい状況です。衝立を活用したり時間帯をずらしたりなど、何らかの工夫が望まれます。	

Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ ⓑ ・c
<コメント> 保護者から相談や意見があった場合は即対応し児童票等にも記載していますが、園全体として対応することが必要な場合の仕組みや文書が用意されていません。	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	ⓐ ・b・c
<コメント> ヒアリハット報告書や事故報告書を適切に記入しています。また、職員間で要因分析と再発防止策を検討し職員で周知することで子供たちの安全確保に留意しています。	
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	ⓐ ・b・c
<コメント> 感染症対策マニュアルによる職員勉強会を頻繁に行っています。また、感染症が発生した場合には職員同士で感染拡大につながらないように連携しています。	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	ⓐ ・b・c
<コメント> 「備蓄リスト」により非常食を管理。また園周辺地域では土砂災害も想定されることから、その場合の避難経路・対策についても消防と連携とって避難訓練に臨んでいます。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	ⓐ ・b・c
<コメント> 年齢に応じた「デイリープログラム」「週案」「月案」を作成することで標準的な保育が実施できるような仕組みができています。	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ ⓑ ・c
<コメント> 標準的な実施方法の見直しについては、全職員が集まって検討する機会がなかなか作れず見直し方法が不十分と感じてられます。	
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	ⓐ ・b・c
<コメント> 家庭票、児童票や乳児の個別指導計画等により一人ひとりの状況を把握したうえで、適切な指導計画の策定に臨んでいます。	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	ⓐ ・b・c
<コメント> 指導計画の見直しは毎週行われ、変更内容についても関係職員に文書で確実に周知するなど手順よい保育指導が行われています。	

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉠・b・c
<コメント> 児童票の記録欄にチェック項目を設けることで必要事項を要領よく確認でき、記録作業の簡素化と職員の違いによる記載内容のバラツキが抑えられています。	
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
<コメント> 個人情報保護に関する規定および情報開示についての対処方法は法人全体で定められています。また、子供の個人情報関係書類は園長により厳格に管理されています。	

評価対象Ⅳ 三重県独自基準

Ⅳ-1 地域項目

	第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。	
Ⅳ-1-① 子育て経験者との連携がとれている。	㉠・b・c
<コメント> 近所の畑を借りて地域の方から野菜作りを指導してもらっています。また、法人内の盲老人ホームの入居者を園に招いての交流や地域行事に参加するなどの活動を行っています。	
Ⅳ-1-② 子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	㉠・b・c
<コメント> 避難訓練には近所の方に参加してもらったり、交通安全協会から講師を招き、地域の危険場所などの指導を受けています。	
Ⅳ-1-④ 地域の環境保護に貢献している。	㉠・b・c
<コメント> 職員は園周辺の掃除や川への稚魚放流事業にも参加。保育ではゴミの分別や節水指導、環境に関する絵本の読み聞かせ等を行って環境保護の意識を高める取組をしています。	